

### 第3学年社会科學習指導案

指導者 山口 のぞみ

#### 1 単元 店ではたらく人

#### 2 単元の目標

まちで働く人たちの仕事と自分たちの暮らしのつながりについて理解する。

#### 3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
①地域の人々の販売の仕事の様子に 관심をもち、意欲的に調べようとするとともに、これらの仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。	①地域の人々の販売の仕事の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに、これらの仕事の工夫を自分たちの生活と関連づけて考え適切に表現している。	①観点に基づいて見学したり資料を活用して、地域の人々が行っている販売の仕事の様子について必要な情報を収集して読み取り、わかったことをグラフや白地図、作品などにまとめている。	①地域には販売に関する仕事があり、自分たちのや生活を支えていることや、それらの仕事に見られる特色や他地域などとのかかわりを理解している。

#### 4 単元の指導について

(教材観)

本小単元は大単元「はたらく人とわたしたちの暮らし」の中で、多様化されてきている販売店の代表として大規模小売店のスーパー・マーケットを取り上げている。ここでは、地域の人々の消費生活について、品物を売る側だけでなく買う側の工夫も取り上げる。ことで、地域の人々の消費生活の特徴をより多面的のとらえさせることができる。ところに重点が置かれていて、また、商店に買い物に来る人の関わり、他の地域で生産された物との関わりの二面から、自分の地域が消費生活を通じて、広く国内の他地域との関わりがあることに気付くことができる。この單元である。(児童観)

社会科への興味・関心が高く、見学したり、本やインターネットで調べたり、音楽鑑賞したり、観察したり、写真撮影したり、手帳やノートで記録したり、意見交換したりなど、さまざまな活動が好きな児童が少ないことが分かる。一方で、資料から考えたり、インターネットで調べたり、意見交換したり、手帳やノートで記録したり、写真撮影したり、観察したりなど、さまざまな活動が好きな児童が日常生活における買い物経験があり、地域にある店の名前もよく知っている。しかし、その店を利用する理由や自分の生活との関わりまでは気付いておらず、社会的事象を客観的に考える力はまだ育っていないと考える。

(指導観)

見学に行くスーパー・マーケットは児童にとって身近な学習材であり、それだけに興味ももちやすくて働く児童が多いく新鮮な発見も期待できる。そこで、学習導入時では、買い物経験からスーパー・マーケットで働く人に目を向けさせる。さらに、各自が「あなたが店長だったらどんなお店をつくりたいですか。」という単元を貫く学習課題を設定することで、一人一人が学習課題を明確にもち、主体的に調べることができるようになります。また、見学後は調べたことから「○○スーパー・マーケットづくり計画書」を作成する。そして、比較をしながら理想のスーパー・マーケットをつくるために必要なことを必要性の高い順にランクインする。表考査したときどきやし、自分の考えとつつきあわせる自分で自分の考えを明確にする。友だちやし、児童が調べたことと比較して、教室内外で意見交換できる場をつくることで、児童の気付きを共有化する。終了後では、児童が自分の考えを分かりやすく伝えることができる活動を充実させていきたい。

#### 5 指導計画 (17時間取扱い) ○数字は本時

時	学習内容・活動	関:思:技:知	観点別評価規準
1	・買い物の経験を話し合い、家の人の店の利用について、質問カードを作る。	○	・販売の仕事と生活との関わりや、身近な人々の買い物に興味をもついている。 (発表・ワークシート)
2	・家の人の買い物についてグラフや白地図にまとめる。	○ ○	・調べてきたことを基に、グラフや絵地図にまとめることができ、それから分かることをまとめていく。 (発表・ワークシート)
3	あなたが店長だったらどんなお店をつくりたいですか。りそなMYスーパー・マーケットをつくりましょう。		
4	・理想のスーパー・マーケットをつくるために、近所の店を見学する計画を立て、見学メモを作る。	○ ○	・店の工夫を予想し、見学の計画を立て、学習問題を考えている。 (ワークシート)
5 ・ 6	・見学メモを基に、店内やバックヤードの見学やインタビューを行う。	○ ○	・発見したことや新たに疑問に思ったことなどをメモしている。 (見学メモ)
7	・見学を基に、スーパー・マーケットの仕事や販売の工夫についてまとめ、理想的のスーパー・マーケットに必要な工夫ベスト3を考える。	○ ○	・見つけた工夫や自分の考えを付箋紙を使ってまとめている。 (ワークシート)
8	・品物の产地を調べ、他地域とのつながりを考え、理想的のスーパー・マーケットにおく商品がどこから来るのが話しあう。	○	・店の仕事は商品の仕入れを通じて他地域とつながっていることを理解している。 (ノート)
9	・店で行っている環境を守るために取組	○	・店では様々な取り組みを通じて人

	みや地域の人々が利用しやすい取組みについて調べ、理想のスーパー・マーケットへの生かし方について話し合う。			々の生活を支えていることを話し合っている。(観察・ノート)
10 ・ 11	・家人へのインタビューなどから客が店に求めていることを調べ、理想のスーパー・マーケットに必要な工夫との関わりについて話し合う。	◎		・消費者側の工夫と販売者側の工夫とのつながりについて考え、店では消費者の工夫に答えるサービスをしていることを話し合っている。(観察・ワークシート)
12	・地域にある店の特色を知り、理想のスーパー・マーケットに生かせる工夫を考える。	◎	○	・店によって様々な特色や工夫があり、販売の仕事は消費者である地域の人々の生活を支えていることを考えている。(ワークシート)
⑬ ・ 14	・これまでの学習を振り返り、理想のスーパー・マーケットに必要な工夫ベスト〇を考え、選んだ理由を分かりやすくまとめる。	◎	○	・販売者側の工夫と消費者側のニーズや願いを結びつけて自分の考えを分かりやすくまとめている。(ワークシート)
15 ・ 16 ・ 17	・「〇〇スーパー・マーケット店長会議」を行い、理想のスーパー・マーケットを絵に表し、発表する。	○	◎	・これまでの活動を踏まえ、理想のスーパー・マーケットをつくり、発表している。(作品・発表)

## 6 本時の指導

### (1) 目標

販売者側と消費者側のニーズや願いを踏まえて理想のスーパー・マーケットに必要な工夫を考え、その理由を分かりやすく表現することができる。

### (2) 準備・資料

ワークシート、吹き出しのワークシート、付箋紙、前時までに作ったキーワードカード

### (3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
1 学習問題をつかむ  りそなMYスーパー・マーケットにはどんな工夫がひつようだらう。	・これまでの学習を簡単にふり返り、本時のめあてへのつながりを確認し確実につかませる。 ・これまでに学習した販売者側と消費者側の工夫が書かれたキーワードカードを掲示しておく。  ・「たくさんのお客さんにきてもらうためには」という工夫を選ぶ際の観点を提示しておく。 ・付箋紙にキーワードを書き、ランキングの移動をしやすくする。
2 理想のスーパー・マーケットに必要なことをランギングに表し、友だちと意見交流をする。 (1) 理想のスーパー・マーケットに必要な工夫を3つ選ぶ。 (2) 選んだキーワードを必要な順にピラミッドランギングに表す。  <考えられる児童のキーワード> 商品がたくさん・いろいろなコーナー ・広いちゅう車場・できたてをお店の中で食べられる休けい所・朝早く夜そくまでえいぎようしている・新せんな品物がそろっている・安い	・意見交流で考えを変えてよいことを伝える。
(3) 友だちと意見交流をする。	
3 そのキーワードを選んだ理由を絵や文章で書く。	・選んだ工夫のうち、本時では一つ目の工夫を中心に書くことを伝える。 ・分かりやすく表現させるために、文章は、①なぜその工夫が理想のスーパー・マーケットに必要か②その工夫をどう生かしたいかの2つの観点から書くこと、絵は、消費者に工夫が伝わるよう、色や形、大きさに気を付けて描くよう指示する。 ・文章で書きづらい児童には吹き出しのワークシートを用意し、店長になつたつもりで書いてみよう促す。
4 本時のまとめをする  <考えられる児童のまとめ> ④ぼくは、新せんな食べ物をそろえれば、たくさんのお客さんが来てくれると思いました。地元で育てた野菜や牛にゅうをそろえたいです。 ⑤友達は安さを1位にしていました。理由を聞いてなるほどと思ったので、ぼくも安さを取り入れようと思いました。友達の意見が聞けてよかったです。	(評価) 理想のスーパー・マーケットに必要な工夫を自分なりに考え選び、その理由を分かりやすく表現することができたか。(ワークシート) ・まとめは、分かったことと授業の感想の2つの観点から書くことで、思考や自分の活動をふり返ることができるものとする。
5 次時の活動について確認をする	